

# アイリス

少しずつ涼しさを増し、秋の気配が漂ってきました。かつてならば、読書の秋ですねと挨拶するところですが、現代は多くの生徒がスマホ漬けです。

2025年の調査では、一日に5時間以上スマホを利用する生徒は、高校生男子で30.3%、女子で34.3%という結果でした。ということは、家庭で過ごす時間のほとんどはスマホを触っているという生徒もいるようです。

悪いことばかりではありませんが、本というフィクションの中でしか体験できないこともあります。本を手に取り、自分とは違う人生を体験してみるのはいかがでしょうか。ちょうど季節もよくなってきたことですし。

## 【図書委員おすすめの本】



『鏡の国』岡崎琢磨 作

この小説は、大御所ミステリー作家が小説家になる前に書いた遺稿が見つかり、なんとその小説には削除されたエピソードがあるらしく、その謎やどうしてこの小説を書いたのかなどその答えが明かされていくミステリー小説です。

表紙の四つに割れた鏡、「鏡の国」というタイトル。伏線はこの小説のそこかしこに張り巡らされています。答えが分かったと思えば反転、反転、また反転。一冊の本に二つの物語が書いてあって一度読み進めるとページをめくる手を止められない一冊です。

横山 優



## 【探究に役立つ本が入りました】

| 書籍名             | 書籍名                 | 書籍名             |
|-----------------|---------------------|-----------------|
| 10代と考える「スマホ」    | 社会の真実の見つけかた         | 博士の愛したジミな昆虫     |
| 新・天文学入門 カラー版    | スポーツを支える仕事          | ムクウエグ医師、平和への闘い  |
| パスタでたどるイタリア史    | データリテラシー入門          | 記憶と脳の探究         |
| 〈弱いロボット〉から考える   | ゼロからの著作権            | 人間と昆虫のこれからを考える  |
| フレーフレー！ 就活高校生   | 野生生物は「やさしさ」だけで守れるか？ | これからの建築入門       |
| お金儲けしない経済学      | 旅して学ぶ台湾             | 読解力を身につける       |
| AIの時代を生きる       | 逃げ続けたら世界一周していました    | ひめゆりの沖縄戦        |
| キリスト教入門         | 生きるためのブックガイド        | ファッション・ライフの楽しみ方 |
| 大人になるっておもしろい？   | ボクは日本一かつこいいトイレ清掃員   | 大学生活の迷い方        |
| インカの世界を知る       | 未来の夜空はどう見える？        | 「育ち」をふりかえる      |
| ことばで愛し、ことばでたたかう | 人とミルクの1万年           | 進化の謎をとく発生学      |
| 動物を守りたい君へ       | 和食のミライ              | スギナの島留学日記       |
| 読むためのレッスン       | ハングルの世界             | 中高生のための新書のすすめ   |
| 知りたい気持ちに火をつけろ！  | “正しい”を疑え！           | はじめての哲学         |
| 新・大学でなにを学ぶか     |                     |                 |

## 【図書委員の気になる新聞紹介】

2026

6月13日

土曜日

不申

戸

### 戦争で死ぬのは私たち若者

杉岡 花音 22歳  
(神戸市北区) 不登校になった中学生の頃、周りの大人が誰も自分を支えてくれないと思つていたのを思い出す。

初めて国会の中継を見た。途中から涙が出た。野党が質問をすると、謎

の笑いが起きて、とても国民の現状に寄り添ってくれているとは思えなかった。2時間ほど見たが、この

時は若者に関する話題は出ていない。一部をなく、大半の新卒の手取りは低いのに物価は高いまま。下がらない。

戦争に行くのは私のような若い人たちなのに、国会には若者の話を聞いてくれるような大人が誰もいない。

戦争になつたら、戦場に行かされ、死ぬのは私たち若者だ。政治家ではない。政治家はそのことを忘れていくように感じてならない。

新聞を読んで、私はその通りだと思いました。引きこもりやいじめがいまだなくならないのに、政府は解決しようとしません。こども家庭庁がありながら児童虐待もなくなりません。なぜでしょうか。

ですがこの日本をよくするのは主権者である私たちなのです。いくら政府を批判してもよくなるとは限りません。根本的な原因は私たち若い世代です。現在若者の投票率は減少傾向にあります。

高校生の私たちはまだ有権者ばかりではありませんが、目を背けず向き合う姿勢が大事だと思います。

根岸 悠太